

501P/73844-130

日 本 国 特 許
JAPAN PATENT OFFICE

*Priority
papers*

J1003 U.S. PTO
09/995970

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年11月29日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-363574

出 願 人

Applicant(s):

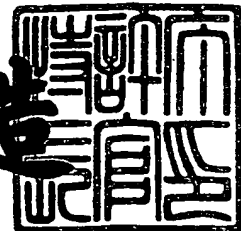
ソニー株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年10月19日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 0000538408

【提出日】 平成12年11月29日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 1/32

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
内

【氏名】 石井 美留香

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100067736

【弁理士】

【氏名又は名称】 小池 晃

【選任した代理人】

【識別番号】 100086335

【弁理士】

【氏名又は名称】 田村 榮一

【選任した代理人】

【識別番号】 100096677

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊賀 誠司

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 019530

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707387

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データ送受信システム及びデータ送受信方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンテンツデータとこのコンテンツデータを送信する送信者識別データと、送信先を特定する送信先データと、この送信先に送信する日時データとを送信する第 1 の端末装置と、

上記コンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを上記第 1 の端末装置から受信し、上記送信先データと日時データに基づいて上記コンテンツデータを送信するサーバ装置と、

上記サーバ装置から送信されたコンテンツデータを受信し、このコンテンツデータを再生する第 2 の端末装置とを備えるデータ送受信システム。

【請求項 2】 上記第 2 の端末装置は、上記コンテンツデータを受信したとき、上記サーバ装置に受信完了データを送信し、上記サーバ装置は、上記第 1 の端末装置にこの受信完了データを送信する請求項 1 記載のデータ送受信システム。

【請求項 3】 上記第 1 の端末装置は、上記コンテンツデータと共に送信する更なるコンテンツデータを選択し、上記サーバ装置は、これらのコンテンツデータを上記第 2 の端末装置に送信する請求項 1 記載のデータ送受信システム。

【請求項 4】 広告データとこの広告データの広告主識別データとを上記サーバ装置に送信する第 3 の端末装置を備え、

上記サーバ装置は、上記第 2 の端末装置にコンテンツデータと共に上記広告データを送信する請求項 1 記載のデータ送受信システム。

【請求項 5】 上記第 2 の端末装置は、上記広告データとを受信したとき、上記サーバ装置に受信完了データを送信し、上記サーバ装置は、上記第 3 の端末装置にこの受信完了データを送信する請求項 4 記載のデータ送受信システム。

【請求項 6】 上記第 2 の端末装置は、移動通信端末装置であり、

上記サーバ装置は、上記コンテンツデータと共に広告データを上記移動通信端末装置に送信するとき、上記移動通信端末装置の通話料データの減額処理を行う請求項 4 記載のデータ送受信システム。

【請求項 7】 上記サーバ装置は、上記第 3 の端末装置の口座データに課金処

理を行う請求項4記載のデータ送受信システム。

【請求項8】 上記コンテンツデータは、音声データである請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項9】 上記コンテンツデータは、楽曲データである請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項10】 上記コンテンツデータは、広告データである請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項11】 上記コンテンツデータは、音声データと楽曲データと広告データの少なくとも2つからなる請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項12】 第1の端末装置がコンテンツデータとこのコンテンツデータを送信する送信者識別データと送信先を特定する送信先データとこの送信先に送信する日時データとをサーバ装置に送信するステップと、

上記サーバ装置がコンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを上記第1の端末装置から受信し、上記送信先データと日時データに基づいて上記コンテンツデータを第2の端末装置に送信するステップと、

上記第2の端末装置が上記サーバ装置から送信されたコンテンツデータを受信し、このコンテンツデータを再生するステップとを有するデータ送受信方法。

【請求項13】 上記第2の端末装置が、上記コンテンツデータを受信したとき、上記サーバ装置に受信完了データを送信するステップと、

上記サーバ装置が、上記受信完了データを受信すると、上記第1の端末装置にこの受信完了データを送信するステップとを有する請求項12記載のデータ送受信方法。

【請求項14】 上記第1の端末装置が、上記コンテンツデータと共に送信する更なるコンテンツデータを選択するステップと、

上記サーバ装置が、これらのコンテンツデータを上記第2の端末装置に送信するステップとを有する請求項12記載のデータ送受信方法。

【請求項15】 第3の端末装置が広告データとこの広告データの広告主識別データとを上記サーバ装置に送信するステップと、

上記サーバ装置が、上記第3の端末装置から広告データを受信すると、上記第

2の端末装置にコンテンツデータと共に上記広告データを送信するステップを有する請求項12記載のデータ送受信方法。

【請求項16】 上記第2の端末装置が、上記広告データとを受信したとき、上記サーバ装置に受信完了データを送信するステップと、

上記サーバ装置が、上記第3の端末装置にこの受信完了データを送信するステップとを有する請求項15記載のデータ送受信方法。

【請求項17】 上記第2の端末装置は、移動通信端末装置であり、

上記サーバ装置が、上記コンテンツデータと共に広告データを上記移動通信端末装置に送信するとき、上記移動通信端末装置の通話料データの減額処理を行うステップを有する請求項15記載のデータ送受信方法。

【請求項18】 上記サーバ装置が、上記第3の端末装置の口座データに課金処理を行うステップを有する請求項15記載のデータ送受信方法。

【請求項19】 第1の端末装置から送信されたコンテンツデータと、このコンテンツデータを送信する送信者識別データと、送信先を特定する送信先データと、この送信先に送信する日時データとを受信する受信手段と、

上記受信手段で受信した上記コンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを記憶する記憶手段と、

上記記憶手段に記憶されたコンテンツデータを第2の端末装置に送信する送信手段と、

上記記憶手段に記憶されたコンテンツデータを上記送信先データと日時データに基づいて上記送信手段より第2の端末装置に送信させる制御手段とを備えるサーバ装置。

【請求項20】 上記受信手段が、上記第2の端末装置がコンテンツデータを受信したことを示す受信完了データを受信したとき、上記制御手段は、上記送信手段より上記第1の端末装置に、この受信完了データを送信する請求項19記載のサーバ装置。

【請求項21】 上記第1の端末装置によって選択された更なるコンテンツデータを上記コンテンツデータと共に第2の端末装置に送信する請求項19記載のサーバ装置。

【請求項 22】 上記受信手段が広告データとこの広告データの広告主識別データとを第3の端末装置から受信したとき、上記制御手段は、上記送信手段から上記第2の端末装置にコンテンツデータと共に上記広告データを送信する請求項19記載のサーバ装置。

【請求項 23】 上記受信手段が、上記第2の端末装置が上記広告データとを受信したことを示す受信完了データを受信したとき、上記制御手段は、上記送信手段より上記送信手段より上記第3の端末装置に、この受信完了データを送信する請求項22記載のサーバ装置。

【請求項 24】 上記第2の端末装置は、移動通信端末装置であり、
上記制御手段は、上記コンテンツデータと共に広告データを上記移動通信端末装置に送信するとき、上記移動通信端末装置の通話料データの減額処理を行う請求項22記載のサーバ装置。

【請求項 25】 上記制御手段は、上記第3の端末装置の口座データに課金処理を行う請求項22記載のサーバ装置。

【請求項 26】 第1の端末装置から送信されたコンテンツデータと、このコンテンツデータを送信する送信者識別データと、送信先を特定する送信先データと、この送信先に送信する日時データとを受信手段で受信するステップと、

上記受信手段で受信した上記コンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを記憶する記憶手段に記憶するステップと、

上記記憶手段に記憶されたコンテンツデータを、上記送信先データと日時データに基づいて第2の端末装置に送信手段より送信するステップとを有するサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項 27】 上記受信手段が、上記第2の端末装置がコンテンツデータを受信したことを示す受信完了データを受信するステップと、

上記送信手段より上記第1の端末装置に、この受信完了データを送信するステップとを有する請求項26記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項 28】 上記第1の端末装置によって選択された更なるコンテンツデータを上記コンテンツデータと共に第2の端末装置に送信するステップを有する請求項26記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項 2 9】 受信手段が広告データとこの広告データの広告主識別データとを第 3 の端末装置から受信するステップと、

上記送信手段から上記第 2 の端末装置にコンテンツデータと共に上記広告データを送信するステップとを有する請求項 2 6 記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項 3 0】 上記受信手段が、上記第 2 の端末装置が上記広告データとを受信したことを示す受信完了データを受信するステップと、

上記送信手段より上記送信手段より上記第 3 の端末装置に、この受信完了データを送信するステップとを有する請求項 2 9 記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項 3 1】 上記第 2 の端末装置は、移動通信端末装置であり、

上記コンテンツデータと共に広告データを上記移動通信端末装置に送信するとき、上記移動通信端末装置の通話料データの減額処理を行うステップを有する請求項 2 9 記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項 3 2】 上記第 3 の端末装置の口座データに課金処理を行うステップを有することを特徴とする請求項 2 9 記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項 3 3】 コンテンツデータと、このコンテンツデータを送信する送信者識別データと、送信先を特定する送信先データと、この送信先に送信する日時データとを記憶する記憶手段と、

データをサーバ装置に送信する送信手段と、

上記記憶手段に記憶された上記コンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを、上記送信手段より上記サーバ装置に送信する制御手段とを備える端末装置。

【請求項 3 4】 更に、データの受信手段を備え、

上記制御手段は、上記コンテンツデータの送信先となる端末装置がコンテンツデータを受信したことを示す受信完了データを上記受信手段で受信する請求項 3 3 記載の端末装置。

【請求項 3 5】 上記制御手段は、上記サーバ装置にアクセスしたとき、上記コンテンツデータと共に上記送信先の端末装置に送信する更なるコンテンツデー

タを選択する請求項 33 記載の端末装置。

【請求項 36】 コンテンツデータと、このコンテンツデータを送信する送信者識別データと、送信先を特定する送信先データと、この送信先に送信する日時データとを記憶手段に記憶するステップと、

上記記憶手段に記憶された上記コンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを、上記送信手段より送信するステップとを有する端末装置のデータ送受信方法。

【請求項 37】 上記コンテンツデータの送信先となる端末装置がコンテンツデータを受信したことを示す受信完了データを受信するステップを有する請求項 36 記載の端末装置のデータ送受信方法。

【請求項 38】 サーバ装置にアクセスし、上記コンテンツデータと共に上記送信先の端末装置に送信する更なるコンテンツデータを選択するステップを有する請求項 36 記載の端末装置のデータ送受信方法。

【請求項 39】 送信元の端末装置からのコンテンツデータをサーバ装置から受信する受信手段と、

上記受信手段で受信したコンテンツデータを記憶する記憶手段と、

上記記憶手段に記憶されたコンテンツデータを再生する再生手段とを備える端末装置。

【請求項 40】 更にデータの送信手段を備え、

上記送信手段は、コンテンツデータを受信したことを示す受信完了データをサーバ装置を介して上記送信元の端末装置に送信する請求項 39 記載の端末装置。

【請求項 41】 上記受信手段が広告データを受信したとき、送信手段は、この広告データを受信したことを示す受信完了データを上記サーバ装置を介して広告主端末装置に送信する請求項 40 記載の端末装置。

【請求項 42】 送信元の端末装置からのコンテンツデータをサーバ装置から受信手段で受信するステップと、

上記受信手段で受信したコンテンツデータを記憶手段で記憶するステップと、

上記記憶手段に記憶されたコンテンツデータを再生手段で再生するステップとを有する端末装置のデータ送受信方法。

【請求項 4 3】 送信手段が、上記コンテンツデータを受信したことを示す受信完了データをサーバ装置を介して上記送信元の端末装置に送信するステップを有する請求項 4 2 記載の端末装置のデータ送受信方法。

【請求項 4 4】 上記受信手段が広告データを受信したとき、上記送信手段が、この広告データを受信したことを示す受信完了データを上記サーバ装置を介して広告主端末装置に送信するステップを有する請求項 4 3 記載の端末装置のデータ送受信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術の分野】

本発明は、グリーティングメッセージ、広告等のコンテンツデータを送信者指定の日時に受信することができるデータ送受信システム及びデータ送受信方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、データ送受信システムは、送信元となる第 1 の端末装置と、第 1 の端末装置よりデータがアップロードされるサーバ装置と、サーバ装置にアクセスすることによって第 1 の端末装置からのデータをダウンロードする第 2 の端末装置を備える。第 1 の端末装置や第 2 の端末装置は、通常のパーソナルコンピュータと同様な構成を有するものであり、それぞれの自宅等に設置されている。

【0003】

例えば、第 1 の端末装置より祝い事の際にグリーティングメッセージを第 2 の端末装置に送信するときには、送信者は、第 1 の端末装置でグリーティングメッセージを作成し、送信先 ID となる送信先の電子メールアドレスを指定して、サーバ装置にアップロードする。一方、第 2 の端末装置は、利用者の操作に応じてサーバ装置にアクセスすることによって、サーバ装置に自分宛の電子メールが届いているか確認し、届いているときには当該電子メールをサーバ装置からダウンロードする。かくして、第 2 の端末装置の所有者は、自分にグリーティングメッセージが届いていることを知ることができる。

【0004】

また、電子メールを用いて宣伝広告を行うときには、広告主が第1の端末装置よりサーバ装置に送信先の電子メールアドレスを指定して広告データをアップロードする。一方、第2の端末装置は、利用者の操作に応じてサーバ装置にアクセスすることによって、サーバ装置に自分宛の広告データが届いているか確認し、届いているときには当該広告データをサーバ装置からダウンロードする。かくして、第2の端末装置の所有者は、自分に広告データが届いていることを知ることができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、以上のようなデータ送受信システムでは、相手が自分の端末装置でサーバ装置にアクセスし、自分宛に電子メールが届いているかどうかを確認するまでは、グリーティングメッセージや広告データが自分に届いているかどうかを知る術はなかった。また、送り主は、希望日時に知人にグリーティングメッセージや広告データを相手方に届けることができなかった。

【0006】

ところで、携帯型電話装置等の移動通信端末装置は、通常、鞆、衣類のポケット等に入れ、常に着信音の届く所に所持しているものであり、従って、利用者に直ちにグリーティングメッセージや広告データを届けることができる。

【0007】

本発明は、上述したような実情に鑑みてなされたものであり、本発明の目的は、グリーティングメッセージ等のコンテンツデータを送信者指定の日時に送信することができるデータ送受信システム及びデータ送受信方法を提供することにある。

【0008】

また、本発明の目的は、コンテンツデータと共に広告データを移動通信端末装置に送信することで、宣伝効果を高めることができるデータ送受信システム及びデータ送受信方法を提供することにある。

【0009】

更に、本発明の目的は、広告データを再生した端末装置の所有者が宣伝に協力したことに対する対価を得ることができるデータ送受信システム及びデータ送受信方法を提供することにある。

【0010】

更に、本発明の目的は、以上のようなシステムに用いるサーバ装置及び端末装置並びにこれらの装置のデータ送受信方法を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明に係るデータ送受信システムは、上述した課題を解決すべく、コンテンツデータとこのコンテンツデータを送信する送信者識別データと、送信先を特定する送信先データと、この送信先に送信する日時データとを送信する第1の端末装置と、コンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを第1の端末装置から受信し、送信先データと日時データに基づいてコンテンツデータを送信するサーバ装置と、サーバ装置から送信されたコンテンツデータを受信し、このコンテンツデータを再生する第2の端末装置とを備える。

【0012】

また、本発明に係るデータ送受信方法は、上述した課題を解決すべく、第1の端末装置がコンテンツデータとこのコンテンツデータを送信する送信者識別データと送信先を特定する送信先データとこの送信先に送信する日時データとをサーバ装置に送信するステップと、サーバ装置がコンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを第1の端末装置から受信し、送信先データと日時データに基づいてコンテンツデータを第2の端末装置に送信するステップと、第2の端末装置がサーバ装置から送信されたコンテンツデータを受信し、このコンテンツデータを再生するステップとを有する。

【0013】

更に、本発明に係るサーバ装置は、上述した課題を解決すべく、第1の端末装置から送信されたコンテンツデータと、このコンテンツデータを送信する送信者識別データと、送信先を特定する送信先データと、この送信先に送信する日時データとを受信する受信手段と、受信手段で受信したコンテンツデータ、送信者識

別データ、送信先データ及び日時データを記憶する記憶手段と、記憶手段に記憶されたコンテンツデータを第2の端末装置に送信する送信手段と、記憶手段に記憶されたコンテンツデータを送信先データと日時データに基づいて送信手段より第2の端末装置に送信させる制御手段とを備える。

【0014】

更にまた、本発明に係るサーバ装置のデータ送受信方法は、上述した課題を解決すべく、第1の端末装置から送信されたコンテンツデータと、このコンテンツデータを送信する送信者識別データと、送信先を特定する送信先データと、この送信先に送信する日時データとを受信手段で受信するステップと、受信手段で受信したコンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを記憶する記憶手段に記憶するステップと、記憶手段に記憶されたコンテンツデータを、送信先データと日時データに基づいて第2の端末装置に送信手段より送信するステップとを有する。

【0015】

更にまた、本発明に係る端末装置は、上述した課題を解決すべく、コンテンツデータと、このコンテンツデータを送信する送信者識別データと、送信先を特定する送信先データと、この送信先に送信する日時データとを記憶する記憶手段と、データをサーバ装置に送信する送信手段と、記憶手段に記憶されたコンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを、送信手段よりサーバ装置に送信する制御手段とを備える。

【0016】

更にまた、本発明に係る端末装置のデータ送受信方法は、上述した課題を解決すべく、コンテンツデータと、このコンテンツデータを送信する送信者識別データと、送信先を特定する送信先データと、この送信先に送信する日時データとを記憶手段に記憶するステップと、記憶手段に記憶されたコンテンツデータ、送信者識別データ、送信先データ及び日時データを、送信手段より送信するステップとを有する。

【0017】

更にまた、本発明に係る端末装置は、上述した課題を解決すべく、コンテンツ

提供端末装置からのコンテンツデータをサーバ装置から受信する受信手段と、受信手段で受信したコンテンツデータを記憶する記憶手段と、記憶手段に記憶されたコンテンツデータを再生する再生手段とを備える。

【0018】

更にまた、本発明に係る端末装置のデータ送受信方法は、上述した課題を解決すべく、コンテンツ提供端末装置からのコンテンツデータをサーバ装置から受信手段で受信するステップと、受信手段で受信したコンテンツデータを記憶手段で記憶するステップと、記憶手段に記憶されたコンテンツデータを再生手段で再生するステップとを有する。

【0019】

【発明の実施の形態】

以下、本発明が適用されたデータ送受信システムについて、図面を参照しながら説明する。このデータ送受信システムは、グリーティングメッセージを、送信者の端末装置から相手方の携帯電話装置に、送信者希望の日時に送信することができるものである。

【0020】

このデータ送受信システム1は、図1に示すように、グリーティングメッセージを送信する送信者端末装置10と、送信者端末装置10から送信されたグリーティングメッセージを相手方に送信者希望日時に送信するサーバ装置30と、サーバ装置30より送信されたグリーティングメッセージを受信する携帯型電話装置40とを備える。更に、このデータ送受信システム1は、サーバ装置30に広告データをアップロードする広告主端末装置60を備える。更に、このデータ送受信システム1は、携帯型電話装置40の無線通信ネットワークの全体を管理する中央管理装置70を備え、携帯型電話装置40は、基地局2を介して中央管理装置50に接続される。また、送信者端末装置10と広告主端末装置60と中央管理装置70とは、ISDN (Integrated Services Digital Network) 回線、CATV (Cable Television) 回線、光ケーブル回線等の電気通信回線を介してインターネット3内の本システムの管理者であるプロバイダのサーバ装置30に接続される。すなわち、携帯型電話装置40は、中央管理装置70を介してイン

ターネット 3 でサーバ装置 30 に接続される。

【0021】

また、このデータ送受信システム 1 は、携帯型電話装置 40 の通話料金等の決済処理を行うための課金サーバ装置 80 を備える。そして、課金サーバ装置 80 には、サーバ装置 30 が専用線 4 により接続され、また、中央管理装置 70 が専用線 5 により接続されている。

【0022】

グリーティングメッセージを作成し、サーバ装置 30 にアップロードする送信者端末装置 10 は、通常のパーソナルコンピュータとほぼ同じ構成を有する装置であり、グリーティングメッセージやこのグリーティングメッセージに添える楽曲データ等が保存されると共にサーバ装置 30 に開設されたホームページを閲覧するための閲覧検索プログラム等の各種アプリケーションプログラムが記憶された記憶部となるハードディスク (hard disk: 以下、単に HD という。) 11 と、全体の動作を制御する制御プログラムが記憶されたリード・オンリ・メモリ (read only memory: 以下、単に ROM という。) 12 と、HD 11 や ROM 12 に記憶されたプログラムがロードされるランダム・アクセス・メモリ (random access memory: 以下、単に RAM という。) 13 と、サーバ装置 30 とデータの送受信を行うための送受信部 14 と、RAM 13 にロードされたプログラムに基づいて全体の動作を制御する中央演算処理装置 (central processing unit: 以下、CPU という。) 15 とを備える。また、この送信者端末装置 10 は、音声データの記録再生部として、音声データをエンコード及びデコードするコーデック 16 と、コーデック 16 でデコードされた音声データをデジタル信号からアナログ信号に変換する D/A コンバータ 17 と、アナログ信号に変換された音声データを音声として出力するスピーカ 18 と、グリーティングメッセージ等を音声で入力するためのマイクロフォン 19 と、マイクロフォン 19 より入力された音声データをアナログ信号からデジタル信号に変換する A/D コンバータ 20 とを備える。更に、送信者端末装置 10 は、入力操作を行うためのキーボード、マウス、タッチパネル等からなる入力操作部 21 と、サーバ装置 30 からダウンロードしたホームページ等を表示する液晶表示パネル、CRT (cathode - r

ay tube) 等からなる表示部 22 と、光ディスク、光磁気ディスク、磁気ディスク、ICカード、テープカセット、ディスクカートリッジ等の外部記憶装置が装着されるドライブ 23 とを備える。

【0023】

このように構成される送信者端末装置 10 では、送信者が HD 11 に保存された所望のアプリケーションプログラムを起動するように入力操作部 21 より起動コマンドを入力すると、CPU 15 が HD 11 や ROM 12 より必要なプログラムを RAM 13 に読み出し実行する。

【0024】

例えば、グリーティングメッセージを文章で作成するときには、利用者が文章作成プログラムを起動するように入力操作部 21 で起動コマンドを入力すると、CPU 15 は、HD 11 より文章作成プログラムを RAM 13 にロードし起動する。そして、CPU 15 は、利用者が入力操作部 21 の操作に応じて、「〇〇ちゃん、二十歳のお誕生日おめでとう。」といった文章を入力し、この文章データを HD 11 に保存する。

【0025】

更に、グリーティングメッセージを音声で作成するときには、マイクロフォン 19 に向かって、例えば「〇月△日、お誕生日パーティーを開きましょう。」と話すと、マイクロフォン 19 は、この音声を電気信号に変換し、A/Dコンバータ 20 が音声データをアナログ信号からデジタル信号に変換変換し、コーデック 16 がデジタル信号に変換された音声データをエンコードする。そして、CPU 15 は、符号化された音声データを HD 11 に保存する。

【0026】

更に、HD には、様々な楽曲データが保存されている。例えば、CPU 15 は、楽曲データを再生するとき、HD 11 より楽曲データを読み出し、コーデック 16 に出力する。そして、楽曲データは、コーデック 16 でデコードされ D/Aコンバータ 17 でデジタル信号からアナログ信号に変換され、スピーカ 18 より出力される。

【0027】

更に、サーバ装置30に開設された本サービスを提供するホームページを閲覧するときには、当該利用者が入力操作部21を用いてそのホームページの所在を示すURL (uniform resource location) を入力すると、CPU15が閲覧検索プログラムやTCP/IP (transmission control protocol/internet protocol) 等の伝送プロトコルを実行し、インターネット3を介して、サーバ装置30にアクセスし、該当するホームページをダウンロードして表示部22に表示する。そして、送信者端末装置10は、送受信部14よりインターネット3を介してサーバ装置30に、グリーティングメッセージを送信する。

【0028】

例えば知人に誕生日祝いを送るとき、送信者端末装置10は、「〇〇ちゃん、二十歳のお誕生日おめでとう。」といった文章データと、「〇月△日、お誕生日パーティーを開きましょう。」といった音声データと、誕生日に関連する楽曲データ、例えば「ハッピーバースデイ」とをサーバ装置30に送信する。勿論、サーバ装置30に送信するコンテンツデータは、文章データだけでもよく、楽曲データだけでもよく、文章データと楽曲データの組み合わせでもよく、音声データと楽曲データの組み合わせでもよい。

【0029】

送信者端末装置10は、このようなコンテンツデータと共に、送信者を特定するための送信者識別データである送信者IDと、送信先を特定するための携帯型電話装置40の電話番号や電子メールアドレスからなる送信先識別データとなる送信先IDと、送信者がグリーティングメッセージを相手の携帯型電話装置40に送信する希望日時である日時データとをサーバ装置30に送信する。

【0030】

なお、この送信者端末装置10では、必要なアプリケーションプログラムを、当該アプリケーションプログラムを記憶している外部記憶装置をドライブ23に装着し読み出すことによって、また、送受信部14をより当該アプリケーションプログラムをダウンロードすることによってインストールすることができる。

【0031】

グリーティングメッセージがアップロードされるサーバ装置30は、通常のコ

ンピュータと同様な構成を有しており、ホームページや各種アプリケーションプログラムが保存された記憶部31と、全体の動作を制御する制御プログラム等が記憶されたROM32と、記憶部31やROM32に記憶されたプログラムがロードされるRAM33と、送信者端末装置10や中央管理装置70とデータの送受信を行う送受信部34と、データをエンコード及びデコードするコーデック35と、RAM33にロードされた記憶部31やROM32に記憶されたプログラムに基づいて全体の動作を制御する制御部36とを備える。また、このサーバ装置30は、外部記憶装置が装着されるドライブ37とを備える。

【0032】

記憶部31は、例えば大容量ハードディスク等からなり、ここには、送信者端末装置10よりアクセスされる本サービスのホームページや送信者端末装置10よりアップロードされたグリーティングメッセージ、送信者ID、送信先ID、日時データ等が保存されるデータベースが設けられている。また、記憶部31には、広告主端末装置60から送信された広告データを保存する。

【0033】

制御部36は、送信者端末装置10よりグリーティングメッセージ等のデータを送受信部34で受信すると、データを記憶部31に保存し、また、広告主端末装置60からの広告データを送受信部34で受信すると、同様に記憶部31に保存する。

【0034】

また、記憶部36は、記憶部31に構築されたデータベースの日時データが示す日時になると、その日時データに対応したグリーティングメッセージを記憶部31より読み出し、送受信部34より携帯型電話装置40に送信する。このとき、制御部36は、グリーティングメッセージと共に広告主端末装置60より受信した広告データを送受信部34より携帯型電話装置40に送信する。

【0035】

なお、このサーバ装置30では、必要なアプリケーションプログラムを、当該アプリケーションプログラムを記憶している外部記憶装置をドライブ37に装着し読み出すことによって、また、送受信部34をより当該アプリケーションプロ

グラムをダウンロードすることによってインストールすることができる。

【0036】

サーバ装置30からのグリーティングメッセージを受信する携帯型電話装置40は、基地局2との間でデータの送受信を行うためのアンテナ41と、送受信するデータを増幅するRF部42と、例えば4相位相偏移変調(QPSK: quadrature frequency shift keying)されたデータを復調する復調部43と、時分割多元接続(TDMA: time division multiple access)方式等でチャネルコーディングされたデータより音声データ、楽曲データ、文章データ等を抽出すると共に送信するデータを同方式によってチャネルコーディングするチャネルコーディック部44と、送信するデータを4相位相偏移変調等の方式により変調する変調部45とを備える。

【0037】

また、この携帯型電話装置40は、チャネルコーディング部44で抽出された音声データをADPCM (adaptive differential pulse code modulation) 方式等により復号する復号化部46と、復号化部46で復号された音声データをデジタル信号からアナログ信号に変換するD/Aコンバータ47と、アナログ信号の音声データを出力するスピーカ48と、音声を電気信号に変換するマイクロフォン49と、アナログ信号の音声データをデジタル信号に変換するA/Dコンバータ50と、デジタル信号に変換された音声データをADPCM方式等で符号化する符号化部51とを備える。

【0038】

更に、携帯型電話装置40は、フラッシュメモリ等の半導体メモリからなり、サーバ装置30からダウンロードしたグリーティングメッセージ、楽曲データ、広告データ等が保存される記憶部52と、全体の動作を制御する制御プログラム等が記憶されたROM53と、記憶部52やROM53に記憶されたデータがロードされるRAM54と、RAM54に読み出された制御プログラム等に基づいて全体の動作を制御する制御部55と、電話番号やURL、文字等を入力するためのテンキー等からなる入力操作部56と、相手方電話番号やホームページを表示する液晶表示パネル等からなる表示部57と、ICカード等の小型の外部記憶

装置が装着されるドライブ58とを備える。

【0039】

以上のような携帯型電話装置40を利用者が電話として使用するとき、制御部55は、着呼信号を検出すると、入力操作部56を構成する着信釦を利用者が押すことによって回線が確立する。そして、基地局2より伝送されてきた通話データは、アンテナ41で受信されると、RF部42で増幅され、復調部43でデータを復調され、チャンネルコーディング部44で音声データが抽出される。そして、チャンネルコーディング部44で抽出された音声データは、復号化部46で復号され、D/Aコンバータ47でアナログ信号に変換され、スピーカ48より出力される。このとき、音声データは、スピーカ48の代わりにヘッドホンやイヤホンから出力するようにしてもよい。

【0040】

また、利用者から発せられた音声は、マイクロフォン49でアナログ信号に変換され、A/Dコンバータ50でデジタル信号に変換される。デジタル信号に変換された音声データは、符号化部51で符号化され、チャンネルコーディング部44でチャンネルコーディングされ、更に変調部45で変調され、RF部42で増幅された後アンテナ41より基地局2に送信される。

【0041】

また、サーバ装置30より中央管理装置70を介してグリーティングメッセージ、すなわち「〇〇ちゃん、二十歳のお誕生日おめでとう。」といった文章データと、「〇月△日、お誕生日パーティーを開きましょう。」といった音声データと、誕生日に関連する楽曲データをアンテナ41で受信すると、RF部42で増幅され、復調部43でデータを復調される。そして、チャンネルコーディング部44は、文章データと音声データと楽曲データ、更に広告データが受信しているときには広告データを抽出する。そして、音声データと楽曲データは、復号化部46で復号され、D/Aコンバータ47でアナログ信号に変換され、スピーカ48より出力される。これと同時に、文章データと広告データとは、制御部55によって、表示部57に表示される。これによって、利用者は、表示部57に表示された文章データと広告データ等を見ながら相手からの音声データを聞くことがで

きる。

【0042】

なお、この携帯型電話装置40では、必要なアプリケーションプログラムを、当該アプリケーションプログラムを記憶している外部記憶装置をドライブ58に装着し読み出すことによって、また、当該アプリケーションプログラムをダウンロードすることによって記憶部52にインストールすることができる。

【0043】

また、サーバ装置30に広告データをアップロードする広告主端末装置60は、通常のパーソナルコンピュータとほぼ同じ構成を有する装置であり、広告データ等が保存されると共にサーバ装置30に開設されたホームページを閲覧するための閲覧検索プログラム等の各種アプリケーションプログラムが記憶されたHD61と、全体の動作を制御する制御プログラムが記憶されたROM62と、HD61やROM62に記憶されたプログラムがロードされるRAM63と、サーバ装置30とデータの送受信を行うための送受信部64と、入力操作を行うための入力操作部65と、サーバ装置30からダウンロードしたホームページ等を表示する表示部66と外部記憶装置が装着されるドライブ67と、RAM54にロードされたプログラムに基づいて全体の動作を制御するCPU68とを備える。

【0044】

CPU68は、送信者端末装置10から携帯型電話装置40に送信するグリーティングメッセージに添付する広告データを送信するとき、入力操作部65でURLを入力すると、伝送制御プロトコルを実行し、サーバ装置30に送受信部64より広告データを送信する。

【0045】

また、この広告主端末装置60は、必要なアプリケーションプログラムを、当該アプリケーションプログラムを記憶している外部記憶装置をドライブ67に装着し読み出すことによって、また、当該アプリケーションプログラムをダウンロードすることによってHD61にインストールすることができる。

【0046】

また、携帯型電話装置40の無線通信ネットワークの全体を管理する中央管理

装置70は、基地局2やサーバ装置30との間でデータの送受信を行う送受信部71と、データをエンコード、デコードするコーデック72と、全体の動作を制御する制御プログラム等が記憶されたROM73と、ROM73等に記憶された制御プログラムがロードされるRAM74と、移動通信端末装置40の通話管理データ等が記憶される記憶部75と、RAM74にロードされたプログラムに基づいて全体の動作を制御する制御部76とを備える。

【0047】

中央管理装置70は、複数の基地局2を制御するものであり、携帯型電話装置40等の間の通話を可能とするための交換局として機能する。また、中央管理装置70は、携帯型電話装置40の利用者毎の通話時間より演算される通話料金データを記憶すると共に、課金サーバ装置80にある口座データにアクセスするための口座アクセス鍵データを記憶している。

【0048】

決済処理を行うための課金サーバ装置80は、サーバ装置30や中央管理装置70とデータの送受信を行うための送受信部81と、データをエンコード、デコードするコーデック82と、全体の動作を制御する制御プログラム等が記憶されたROM83と、ROM83等に記憶されたプログラムがロードされるRAM84と、口座データ等が記憶された記憶部85と、RAM84にロードされたプログラムに基づいて全体の動作を制御する制御部86とを備える。

【0049】

課金サーバ装置80は、記憶部85に、広告主の口座データ、携帯型電話装置40の利用者の口座データ等を記憶している。この課金サーバ装置80は、サーバ装置30や中央管理装置70からアクセス要求や口座鍵データを受信したとき、制御部86によって認証処理を行い、認証を取ることができたとき、所定の口座データを更新する。

【0050】

次に、図2を参照して、送信者端末装置10の所有者が携帯型電話装置40の利用者にグリーティングメッセージを送信するまでの一連の手順について説明する。

【0051】

先ず、グリーティングメッセージを作成する者は、送信者端末装置10によってグリーティングメッセージを作成する。具体的に、送信者は、入力操作部21を操作することによって文章作成プログラムを起動し、例えば「〇〇ちゃん、二十歳のお誕生日おめでとう。」といった文章を入力し、この文章データをHD11に保存する。また、グリーティングメッセージを音声で作成するときには、送信者がマイクロフォン19に向かって、例えば「〇月△日、お誕生日パーティーを開きましょう。」と話す。すると、送信者端末装置10は、マイクロフォン19で音声を電気信号に変換し、A/Dコンバータ20が音声データをアナログ信号からデジタル信号に変換変換し、コーデック16がデジタル信号に変換された音声データをエンコードし、HD11に保存する。

【0052】

そして、送信者端末装置10は、ステップS1において、所定のURLを入力操作部21で入力し、伝送制御プロトコルを実行することによって、グリーティングメッセージ、すなわち文章データ、音声データ、楽曲データをサーバ装置30に送信する。また、送信者端末装置10は、このグリーティングメッセージと共に、送信者を特定するための送信者IDと、送信先を特定するための送信先IDと、送信者がグリーティングメッセージを相手の携帯型電話装置40に送信する希望日時である日時データとをサーバ装置30に送信する。

【0053】

ステップS2において、サーバ装置30は、送信者端末装置10から送信されたグリーティングメッセージ、送信者ID、送信先ID及び日時データを送受信部34で受信する。そして、サーバ装置30は、ステップS3において、これらのデータを記憶部31に構築されたデータベースを更新する。

【0054】

ここで、サーバ装置30の記憶部31に設けられたデータベースは、下記表1のように構成される。

【0055】

【表 1】

送信者ID	送信先ID	日時データ	グリーティングメッセージ
〇〇〇co.jp	〇△□ne.jp	2000/12/24/12:00	音声データ、楽曲データ
△△△ne.jp	09012345678	2000/11/20/11:00	文章データ、音声データ
□□□.com	09098765432	2001/01/01/00:00	文章データ、音声データ、楽曲データ
◎◎◎co.jp	△□〇ne.jp	2000/12/24/18:30	文章データ、音声データ、楽曲データ
...
...
...

【0056】

表 1 に示すように、例えば送信者 ID は、送信者端末装置 10 の電子メールアドレスであり、送信先 ID は、送信先の携帯型電話装置 40 の電話番号若しくは電子メールアドレスであり、日時データは、年、月、日、時刻から構成されている。また、データベースには、送信者 ID に関連させてグリーティングメッセージを構成する文章データ、音声データ、楽曲データが保存されている。例えば、送信者 ID 「〇〇〇co.jp」 には、携帯型電話装置 40 の送信先 ID 「〇△□ne.jp」と、送信日時データである西暦 2000 年 12 月 24 日、12:00 と、音声データと楽曲データとが関連づけられて保存されている。

【0057】

そして、サーバ装置 30 は、送信者端末装置 10 からステップ S2 においてデータを受信すると、ステップ S3 において、随時データベースを更新する。

【0058】

ステップ S4 において、サーバ装置 30 は、各送信者端末装置 10 からの日時データの日時になったかどうかを判断し、所定の日時になったとき、ステップ S5 に進み、所定の日時になっていないとき、ステップ S4 を繰り返す。

【0059】

ステップ S5 において、サーバ装置 30 は、電子メールアドレス、電話番号等の送信先 ID に基づいて、グリーティングメッセージ、すなわち文章データ、音声データ、楽曲データを携帯型電話装置 40 に送信する。

【0060】

受信待機状態にある携帯型電話装置40は、ステップS6において、基地局2からの着呼信号を受信すると、着信音を再生し、例えば利用者が入力操作部56を構成する着信釦を押すことによって回線確立する。そして、携帯型電話装置40は、サーバ装置30からのグリーティングメッセージをダウンロードする。

【0061】

ステップS7において、携帯型電話装置40は、グリーティングメッセージのダウンロードが完了すると、グリーティングメッセージのダウンロードが完了したことを示す受信完了データをサーバ装置30に送信する。

【0062】

ステップS8において、携帯型電話装置40は、ダウンロードしたグリーティングメッセージを再生する。具体的に、携帯型電話装置40は、サーバ装置30からのグリーティングメッセージをアンテナ41で受信すると、グリーティングメッセージをRF部42で増幅し、復調部43でデータを復調する。そして、チャネルコーディング部44は、文章データと音声データと楽曲データを抽出する。音声データと楽曲データは、復号化部46で復号され、D/Aコンバータ47でアナログ信号に変換され、スピーカ48より出力される。これと同時に、文章データは、制御部55によって、表示部57に表示される。これによって、利用者は、表示部57に表示された文章データ等を見ながら相手からの音声データを聞くことができる。

【0063】

また、ステップS7においてサーバ装置30に受信完了データが送信されると、サーバ装置30は、ステップS9において、携帯型電話装置40からの受信完了データを受信する。すると、サーバ装置30は、ステップS10において、電子メールアドレスからなる送信者IDに基づいて、インターネット3を介して受信完了データを送信者端末装置10に送信する。そして、ステップS11において、送信者端末装置10が受信完了データを受信することによって、グリーティングメッセージの送信者は、自分が送信したグリーティングメッセージが何時相手方に送信されたかを知ることができる。

【0064】

以上のようなデータ送受信システム1によれば、送信者が希望する日時に、グリーティングメッセージを相手方の携帯型電話装置40に送信することができ、タイミング良くグリーティングメッセージを相手方に送ることができる。

【0065】

次に、図3を参照して、送信者端末装置10の所有者が携帯型電話装置40の利用者にグリーティングメッセージを送信する際、このグリーティングメッセージと共に送信する楽曲データや画像データをサーバ装置30に開設されたホームページを閲覧して選択し、グリーティングメッセージ共に選択した楽曲データや画像データを携帯型電話装置40に送信するデータ送受信システムについて説明する。

【0066】

先ず、ステップS21において、サーバ装置30は、グリーティングメッセージを携帯型電話装置40に送信する際に添付する楽曲データ及び／又は画像データを送信者端末装置10によって選択することができるようにこれらのデータをホームページに公表する。

【0067】

例えば、このホームページは、図4に示すように、文章データや音声データに添付することができるデータが「楽曲の部」と「画像の部」に分類され、更にそれぞれの部が、「誕生日」「結婚」「卒業」「入学」の項目に分類されてなる。

「楽曲の部」は、各項目に楽曲のタイトル欄が設けられ、このタイトル欄に隣接して該当する楽曲を試聴することができる試聴釦が設けられている。また、「画像の部」は、各項目に画像のタイトル欄が設けられている。

【0068】

ところで、送信者が送信者端末装置10によって音声データや文章データで構成されるグリーティングメッセージを作成すると、ステップS22において、送信者端末装置10は、送信者が入力操作部21で所定のURLを指定すると、サーバ装置30にアクセスして、図4に示すホームページをダウンロードし、表示部22に表示する。そして、送信者は、図4に示すホームページを見ることによって、音声データと文章データに添付する楽曲データと画像データを選択する。

【0069】

具体的に、送信者が「楽曲の部」のタイトルAの試聴釦を入力操作部21を構成するマウスでクリックすると、送信者端末装置10は、該当する楽曲データをダウンロードし、楽曲データをコーデック16でデコードし、D/Aコンバータ17でデジタル信号からアナログ信号に変換し、スピーカ18より出力する。これによって、送信者は、楽曲データを試聴することができる。また、「画像の部」のタイトルOを入力操作部21を構成するマウスで選択すると、送信者端末装置10は、該当する画像データをダウンロードし、表示部22に表示する。これによって、画像を見ることができる。

【0070】

そして、送信者は、自分の好みにあった楽曲データや画像データを、例えば入力操作部21で指定する。そして、ステップS23において、送信者端末装置10は、送信釦をクリックすることによって、グリーティングメッセージを構成する音声データと文章データをサーバ装置30に送信する。このとき、サーバ装置30は、グリーティングメッセージと共に、送信者を特定するための送信者IDと、送信先を特定するための送信先IDと、送信者がグリーティングメッセージを相手の携帯型電話装置40に送信する希望日時である日時データとをサーバ装置30に送信する。また、このとき、送信者端末装置10は、ホームページで選択した楽曲データと画像データの選択信号をサーバ装置30に送信する。

【0071】

ステップS24において、サーバ装置30は、送信者端末装置10より送信されたグリーティングメッセージ、送信者ID、送信先ID、日時データ及び選択信号を受信する。そして、サーバ装置30は、ステップS25において、記憶部31に設けられたデータベースを更新する。

【0072】

ここで、サーバ装置30の記憶部31に設けられたデータベースは、下記表2のように構成される。

【0073】

【表 2】

送信者ID	送信先ID	日時データ	グリーティングメッセージ	添付データID
〇〇〇co.jp	〇△□ne.jp	2000/12/24/12:00	音声データ	B, P
△△△ne.jp	09012345678	2000/11/20/11:00	文章データ、音声データ	A, O
□□□.com	09098765432	2001/01/01/00:00	文章データ	C
◎◎◎co.jp	△□〇ne.jp	2000/12/24/18:30	文章データ、音声データ	W
...
...
...

【0074】

表 2 に示すように、送信者端末装置 10 からのデータは、上記表 1 と同様に、送信者 ID に関連づけて送信先 ID、日時データ、音声データ及び／又は文章データからなるグリーティングメッセージ、添付データが保存されている。この添付データは、選択信号より抽出された上記表 4 で示したホームページの送信者端末装置 10 により選択された楽曲データ及び／又は画像データの ID、すなわち添付データ ID であり、送信者 ID に関連づけられている。

【0075】

そして、サーバ装置 30 は、送信者端末装置 10 からステップ S 24 においてデータを受信すると、ステップ S 25 において、随時データベースを更新する。

【0076】

ステップ S 26 において、サーバ装置 30 は、各送信者端末装置 10 からの日時データの日時になったかどうかを判断し、所定の日時になったとき、ステップ S 27 に進み、所定の日時になっていないとき、ステップ S 26 を繰り返す。

【0077】

ステップ S 26 において、サーバ装置 30 は、電子メールアドレス、電話番号等の送信先 ID に基づいて、グリーティングメッセージ、すなわち文章データ、音声データと添付データである楽曲データと画像データを携帯型電話装置 40 に送信する。

【0078】

受信待機状態にある携帯型電話装置 40 は、ステップ S 28 において、基地局

2からの着呼信号を受信すると、着信音を再生し、例えば利用者が入力操作部56を構成する着信釦を押すことによって回線を確立する。そして、携帯型電話装置40は、サーバ装置30からのグリーティングメッセージをダウンロードする。

【0079】

ステップS29において、携帯型電話装置40は、グリーティングメッセージ及び添付データのダウンロードが完了すると、グリーティングメッセージのダウンロードが完了したことを示す受信完了データをサーバ装置30に送信する。

【0080】

ステップS30において、携帯型電話装置40は、ダウンロードしたグリーティングメッセージを再生する。具体的に、携帯型電話装置40は、サーバ装置30からのグリーティングメッセージ及び添付データをアンテナ41で受信すると、グリーティングメッセージ及び添付データをRF部42で増幅し、復調部43でデータを復調する。そして、チャンネルコーディング部44は、文章データと音声データと添付データを構成する楽曲データと画像データを抽出する。音声データと楽曲データは、復号化部46で復号され、D/Aコンバータ47でアナログ信号に変換され、スピーカ48より出力される。これと同時に、文章データ及び画像データは、制御部55によって、表示部57に表示される。これによって、利用者は、表示部57に表示された文章データ、画像データ等を見ながら相手からの音声データを聞くことができる。

【0081】

また、ステップS29においてサーバ装置30に受信完了データが送信されると、サーバ装置30は、ステップS31において、携帯型電話装置40からの受信完了データを受信する。すると、サーバ装置30は、ステップS31において、電子メールアドレス等からなる送信者IDに基づいて、インターネット3を介して受信完了データを送信者端末装置10に送信する。そして、ステップS33において、送信者端末装置10が受信完了データを受信することによって、グリーティングメッセージの送信者は、自分が送信したグリーティングメッセージが何時相手方に送信されたかを知ることができる。

【0082】

以上のようなデータ送受信システム1によれば、送信者が希望する日時に、グリーティングメッセージを相手方の携帯型電話装置40に送信することができ、タイミング良くグリーティングメッセージを相手方に送ることができる。また、送信者が、コンテンツとしてグリーティングメッセージに添付する楽曲データや画像データを所持していないときであっても、サーバ装置30にアクセスすることによって、自分の好みにあった添付データとなる楽曲データや画像データを選択することができる。

【0083】

次に、図5を参照して、送信者端末装置10からのグリーティングメッセージに広告データを添付する例について説明する。

【0084】

まず、ステップS41において、広告主端末装置60は、送受信部64より、グリーティングメッセージに添付する広告データと広告主を識別する識別データとなる広告主IDとをサーバ装置30に送信する。サーバ装置30は、ステップS42において、広告データと口座データと広告主IDとを受信すると、次いで、ステップS43において、広告データと口座データと広告主IDとを記憶部31に構成されたデータベースに保存する。

【0085】

送信者が送信者端末装置10によって音声データ、文章データ、楽曲データ等で構成されるグリーティングメッセージを作成すると、ステップS44において、送信者端末装置10は、所定のURLを入力操作部21で入力し、伝送制御プロトコルを実行することによって、本サービスを提供するホームページにアクセスし、当該ホームページをダウンロードし、表示部22に表示する。

【0086】

送信者端末装置10は、グリーティングメッセージ、すなわち文章データ、音声データ、楽曲データ等をサーバ装置30にアップロードするとき、ステップS45において、携帯型電話装置40にグリーティングメッセージが送信されるとき、広告データが添付されることについて承諾するかどうかの確認を行う。そし

て、送信者端末装置10は、広告データがグリーティングメッセージを携帯型電話装置40に送信するとき添付されることに承諾するとき、ステップS46に進み、承諾しないとき、ステップS47に進みログアウトする。

【0087】

ステップS46において、送信者端末装置10は、グリーティングメッセージ、すなわち文章データ、音声データ、楽曲データ等をサーバ装置30に送信する。また、送信者端末装置10は、このグリーティングメッセージと共に、送信者を特定するための送信者IDと、送信先を特定するための送信先IDと、送信者がグリーティングメッセージを相手の携帯型電話装置40に送信する希望日時である日時データとをサーバ装置30に送信する。更に、送信者端末装置10は、広告データがグリーティングメッセージを携帯型電話装置40に送信するとき添付されることに対して承諾したことを示す承諾信号をサーバ装置30に送信する。

【0088】

ステップS47において、サーバ装置30は、送信者端末装置10から送信されたデータに承諾信号が含まれているかどうかを判断し、含まれているときステップS48に進み、含まれていないときステップS49に進みログアウトする。

【0089】

ステップS48において、サーバ装置30は、送信者端末装置10から送信されたグリーティングメッセージ、送信者ID、送信先ID及び日時データを送受信部34で受信し、上記表1に示した記憶部31に構築されたデータベースを随時更新する。

【0090】

ステップS49において、サーバ装置30は、各送信者端末装置10からの日時データの日時になったかどうかを判断し、所定の日時になったとき、ステップS50に進み、所定の日時になっていないとき、ステップS49を繰り返す。ステップS50において、サーバ装置30は、上記表1に示した電子メールアドレス、電話番号等の送信先IDに基づいて、グリーティングメッセージ、すなわち文章データ、音声データ、楽曲データ等と広告データとを携帯型電話装置40に

送信する。

【0091】

受信待機状態にある携帯型電話装置40は、ステップS51において、基地局2からの着呼信号を受信すると、着信音を再生し、例えば利用者が入力操作部56を構成する着信釦を押すことによって回線確立する。そして、携帯型電話装置40は、ステップS52において、サーバ装置30からグリーティングメッセージ及び広告データをダウンロードする。携帯型電話装置40は、グリーティングメッセージ及び広告データのダウンロードが完了すると、ステップS52において、グリーティングメッセージのダウンロードが完了したことを示す受信完了データをサーバ装置30に送信する。

【0092】

ステップS53において、携帯型電話装置40は、ダウンロードしたグリーティングメッセージ及び広告データを再生する。具体的に、携帯型電話装置40は、サーバ装置30からのグリーティングメッセージ及び広告データをアンテナ41で受信すると、グリーティングメッセージをRF部42で増幅し、復調部43でデータを復調する。そして、チャンネルコーディング部44は、文章データと音声データと楽曲データと広告データを抽出する。音声データと楽曲データは、復号化部46で復号され、D/Aコンバータ47でアナログ信号に変換され、スピーカ48より出力される。これと同時に、文章データ及び広告データは、制御部55によって、表示部57に表示される。これによって、利用者は、表示部57に表示された文章データ等を見ながら相手からの音声データを聞くことができる。これと同時に、利用者は、表示部57に表示された広告データを見ることになる。

【0093】

また、携帯型電話装置40よりステップS52においてサーバ装置30に受信完了データが送信されると、サーバ装置30は、ステップS54において、携帯型電話装置40からの受信完了データを受信する。すると、サーバ装置30は、ステップS55において、送信者端末装置10に送信者IDに基づいて受信完了データを送信すると共に、広告主IDに基づいて広告主端末装置60に受信完了

データを送信する。

【0094】

そして、ステップS56において、送信者端末装置10が受信完了データを受信することによって、グリーティングメッセージの送信者は、自分が送信したグリーティングメッセージが何時相手方に送信されたかを知ることができる。また、ステップS57において、広告主端末装置60が受信完了データを受信することによって、広告主は、自分が送信したグリーティングメッセージが携帯型電話装置40の所有者に届けられたを知ることができる。

【0095】

そして、ステップS58において、サーバ装置30は、広告主への課金データを課金サーバ装置80に送信する。ここで、この決済処理方法について、図6を参照して説明する。

【0096】

先ず、ステップS61において、サーバ装置30は、上記図5のステップS54において携帯型電話装置40からの受信完了データを受信したかどうか判断し、当該データを受信したとき、ステップS62に進み、受信していないとき、ステップS61を繰り返す。すなわち、このステップにおいて、広告依頼者である広告主に対するサービスが終了したかどうかを判断する。そして、サーバ装置30は、ステップS62において、広告主端末装置60からの広告データを送信した回数に応じて広告主に対して課金を行うため、携帯型電話装置40からの受信完了データの受信回数をカウントする。次いで、ステップS63において、サーバ装置30は、所定期間、例えば1ヶ月経過したかどうかを判断する。

【0097】

そして、ステップS64において、サーバ装置30は、各広告主に対する課金データを生成し、データベースを更新する。

【0098】

ここで、例えば記憶部31に設けられたデータベースは、下記表3のように構成される。

【0099】

【表 3】

広告主ID	基本料金(円)	送信回数(×100円)	合計金額(円)
1	100000	100	110000
2	100000	200	120000
3	100000	300	130000
4	100000	400	140000
...

【0100】

本システムの基本料金を10000円とし、送信回数1回に月100円を加算することとすると、広告主1は、送信回数が100回であるから、合計金額が110000円となり、広告主2は、送信回数が200回であるから、合計金額が120000円となり、広告主3は、送信回数が300回であるから、合計金額が130000円となり、広告主4は、送信回数が400回であるから、合計金額が140000円となる。以上のようにして、サーバ装置30は、所定期間内における広告データの送信回数に応じて合計金額である課金データを生成し、データベースを更新する。

【0101】

次いで、サーバ装置30は、ステップS65において、専用線4を介してサーバIDと共に課金サーバ装置80にアクセス要求を行う。アクセス要求受信待機状態にある課金サーバ装置80は、ステップS66において、アクセス要求を受信したとき、ステップS67に進み、アクセス要求を受信しないとき、ステップS66を繰り返す。そして、課金サーバ装置80は、ステップS67において、サーバ装置30から送信されたサーバIDに基づいて認証処理を行う。そして、課金サーバ装置80は、認証が取れたとき、ステップS68に進み、認証が取れなかったとき、ステップS69に進む。

【0102】

ここで、広告主端末装置60の所有者である広告主は、予め本システムのサービス用に口座を指定しており、課金サーバ装置80は、口座に対応して広告主用鍵とが記憶されている。したがって、認証が取れたとき、課金サーバ装置80は

、ステップS68において、サーバ装置30に広告主用鍵を送信する。

【0103】

また、ステップS67において、認証が取れなかったとき、課金サーバ装置80は、サーバ装置30に非認証信号を送信し、サーバ装置30の管理者、すなわち本システムの管理者に認証が取れなかったことを知らせる。

【0104】

ステップS70において、サーバ装置30は、広告主口座用鍵を受信したかどうかを判断し、受信したとき、ステップS71に進み、受信しなかったとき、ステップS70を繰り返す。ステップS71において、サーバ装置30は、広告主口座用鍵と共に上記表3の各広告主の課金データを課金サーバ装置80に送信する。

【0105】

受信待機状態にある課金サーバ装置80は、ステップS72において、サーバ装置30からの広告主口座用鍵と課金データを受信すると、ステップS73において、サーバ装置30からの広告主に対する課金データに基づいてデータベースの更新、すなわち日付、入出金履歴、残金等の更新を行う。

【0106】

すなわち、課金サーバ装置80は、サーバ装置30からの課金データに基づいて、広告主の口座データの減額処理を行い、また、サーバ装置30の管理者の口座データにこの分の振込処理を行う。

【0107】

以上のようなデータ送受信システムによれば、送信者が希望する日時に、グリーティングメッセージを相手方の携帯型電話装置40に送信することができ、タイミング良くグリーティングメッセージを相手方に送ることができる。そして、グリーティングメッセージが携帯型電話装置40にダウンロードされたとき、表示部7には、グリーティングメッセージと共に広告データが表示されることから、広告効果を効率良く高めることができる。

【0108】

なお、以上、広告データが画像データで構成された例を用いて説明したが、こ

の広告データは、画像データの他、音声データや画像データでもよく、またこれらの組み合わせでもよい。

【0109】

次に、コンテンツデータとして、グリーティングメッセージではなく、広告データを携帯型電話装置40に送信する例について図7を参照して説明する。本例では、送信者端末装置10の所有者が広告主となる。

【0110】

まず、広告主が所有する送信者端末装置10は、ステップS81において、所定のURLを入力操作部21で入力し、伝送制御プロトコルを実行することによって、広告データをサーバ装置30に送信する。このとき、送信者端末装置10は、このグリーティングメッセージと共に、送信者である広告主を特定するための送信者IDと、広告データを配信する送信先を特定するための送信先IDと、送信者が広告データを相手の携帯型電話装置40に送信する希望日時である日時データとをサーバ装置30に送信する。なお、ここでサーバ装置30にアップロードする広告データは、音声データ、楽曲データ、画像データ、動画データの何れでもよく、また、これらを2以上組み合わせたデータであったもよい。

【0111】

ステップS82において、サーバ装置30は、送信者端末装置10から送信された広告データ、送信者ID、送信先ID及び日時データを送受信部34で受信する。そして、サーバ装置30は、ステップS83において、これらのデータを記憶部31に構築されたデータベースを更新する。

【0112】

ここで、サーバ装置30の記憶部31に設けられたデータベースは、下記表4のように構成される。

【0113】

【表 4】

送信者ID	日時データ	送信先ID
〇〇〇co.jp	2000/12/24/18:00	〇△□ne.jp
		09012345678
		09098765432
		△□〇ne.jp
		...
		...
		...
△△△ne.jp	2001/01/01/00:00	09014785236
		09096325874
		◎◎◎co.jp
		□△◎ne.jp
		...
		...
		...
...

【0114】

表1に示すように、例えば広告主である送信者IDは、送信者端末装置10の電子メールアドレスであり、送信先IDは、送信先の携帯型電話装置40の電話番号若しくは電子メールアドレスであり、日時データは、年、月、日、時刻から構成されている。そして、送信者IDには、日時データと送信先IDと広告データが関連されている。例えば、送信者ID「〇〇〇co.jp」には、送信日時データである西暦2000年12月24日、18:00と、携帯型電話装置40の送信先IDである「〇△□ne.jp」、「09012345678」、「09098765432」、「△□〇ne.jp」が関連づけられている。そして、サーバ装置30は、送信者端末装置10からステップS82においてデータを受信すると、ステップS83において、随時データベースを更新する。

【0115】

ステップS84において、サーバ装置30は、各送信者端末装置10から送信された日時データの日時になったかどうかを判断し、所定の日時になったとき、

ステップ S 8 5 に進み、所定の日時になっていないとき、ステップ S 8 4 を繰り返す。

【 0 1 1 6 】

ステップ S 8 5 において、サーバ装置 3 0 は、電子メールアドレス、電話番号等の送信先 I D に基づいて広告データを携帯型電話装置 4 0 に送信する。受信待機状態にある携帯型電話装置 4 0 は、ステップ S 8 6 において、基地局 2 からの着呼信号を受信すると、着信音を再生し、例えば利用者が入力操作部 5 6 を構成する着信釦を押すことによって回線確立する。そして、携帯型電話装置 4 0 は、サーバ装置 3 0 からの広告データをダウンロードする。

【 0 1 1 7 】

ステップ S 8 7 において、携帯型電話装置 4 0 は、広告データのダウンロードが完了すると、広告データのダウンロードが完了したことを示す受信完了データをサーバ装置 3 0 に送信する。

【 0 1 1 8 】

ステップ S 8 8 において、携帯型電話装置 4 0 は、ダウンロードした広告データを再生する。すなわち、携帯型電話装置 4 0 は、サーバ装置 3 0 からの広告データをアンテナ 4 1 で受信すると、広告データを R F 部 4 2 で増幅し、復調部 4 3 でデータを復調する。そして、チャネルコーディング部 4 4 は、音声データと楽曲データと画像データとを抽出する。音声データと楽曲データは、復号化部 4 6 で復号され、D / A コンバータ 4 7 でアナログ信号に変換され、スピーカ 4 8 より出力される。これと同時に、画像データは、制御部 5 5 によって、表示部 5 7 に表示される。これによって、利用者は、表示部 5 7 に表示された画像データ等を見ながら相手からの音声データを聞くことができる。

【 0 1 1 9 】

また、ステップ S 8 7 においてサーバ装置 3 0 に受信完了データが送信されると、サーバ装置 3 0 は、ステップ S 8 9 において、携帯型電話装置 4 0 からの受信完了データを受信する。すると、サーバ装置 3 0 は、ステップ S 9 0 において、電子メールアドレスからなる送信者 I D に基づいて、インターネット 3 を介して受信完了データを広告主の送信者端末装置 1 0 に送信する。そして、ステップ

S91において、送信者端末装置10が受信完了データを受信することによって、広告主である送信者は、自分が送信した広告データが何時相手方に送信されたかを知ることができる。この後、サーバ装置30は、ステップS92において、広告主への課金データを生成し、これを課金サーバ装置80に送信し、また、携帯型電話装置40の所有者の通話料割引データを生成し、これを中央管理装置70に送信する。ここで、この決済処理方法について、図8を参照して説明する。

【0120】

先ず、ステップS101において、サーバ装置30は、上記図7のステップS90において携帯型電話装置40からの受信完了データを受信したかどうかを判断し、当該データを受信したとき、ステップS102に進み、受信していないとき、ステップS101を繰り返す。すなわち、このステップにおいて、送信者端末装置10の所有者である広告主に対するサービス、すなわち広告データの配信が完了したかどうかを判断する。そして、サーバ装置30は、ステップS102において、所定期間内における携帯型電話装置40から受信完了データと共に送信された携帯型電話装置40のID、すなわち送信先ID毎の受信完了データの受信回数をカウントする。これによって、サーバ装置30は、各携帯型電話装置40が所定期間内において広告データを何回受信したかをカウントする。

【0121】

次いで、サーバ装置30は、ステップS103において、送信者端末装置10の所有者である広告主に対する課金データと携帯型電話装置40の所有者の通話料金の割引データを生成し、記憶部31に構築されたデータベースを更新する。

【0122】

ここで、記憶部31に設けられたデータベースは、下記表5のように構成されている。

【0123】

【表 5】

送信者(広告主)			携帯型電話装置の所有者		
送信者ID	配信回数(回)	課金データ(円)	送信先ID	受信回数(回)	割引データ(円)
〇〇〇co.jp	1	100000	〇△□ne.jp	2	200
△△△ne.jp	2	200000	09012345678	1	100
□□□.com	1	100000	09098765432	2	200
◎◎◎co.jp	2	200000	△□〇ne.jp	1	100
...
...
...

【0124】

すなわち、このデータベースは、送信者端末装置10の所有者である広告主に
関し、送信者IDに関連づけて、広告データの配信回数と課金データを記憶して
いる。例えば、広告データの配信を1回100000円とすると、送信者IDが
「〇〇〇co.jp」の広告主は、広告データの配信回数が1回であるから課金デ
ータが100000円となり、送信者IDが「△△△ne.jp」の広告主は、広告デ
ータの配信回数が2回であるから課金データが200000円となり、送信者I
Dが「□□□com.」の広告主は、広告データの配信回数が1回であるから課金デ
ータが100000円となり、送信者IDが「◎◎◎co.jp」の広告主は、広告
データの配信回数が2回であるから課金データが200000円となる。

【0125】

また、データベースは、携帯型電話装置40の所有者に関し、送信先IDに関
連づけて、受信完了データの所定期間内における受信回数と割引データを記憶し
ている。例えば、広告データを1回受信する毎に100円の通話料金の割引を受
けることができるとすると、送信先IDが「〇△□ne.jp」の携帯型電話装置4
0の所有者は、広告データの受信回数が2回であるから割引データが200円と
なり、送信先IDが「09012345678」の所有者は、広告データの受信回数が1回
であるから割引データが100円となり、送信先IDが「09098765432」の所有
者は、広告データの受信回数が2回であるから割引データが200円となり、送
信先IDが「△□〇ne.jp」の所有者は、広告データの受信回数が1回であるか
ら割引データが100円となる。

【0126】

そして、サーバ装置30は、ステップS103において、随時データベースを更新する。次いで、サーバ装置30は、ステップS104において、携帯型電話装置40の所有者の割引データを中央管理装置70に送信する。

【0127】

一方、中央管理装置70は、ステップS105において、所定期間、例えば1ヶ月経過したかどうかを判断し、経過したとき、ステップS106に進み、経過していないとき、ステップS106を繰り返す。ステップS106において、各携帯型電話装置40の所有者の1ヶ月間の通話時間に応じた通話料金データを生成する。ステップS107において、中央管理装置70は、ステップS104においてサーバ装置30から送信された通話料金の割引データを受信する。

【0128】

そして、サーバ装置30は、ステップS108において、通話料金にサーバ装置30からの割引データを反映させた割引通話料金データを生成し記憶部75に構築されたデータベースを随時更新する。

【0129】

ここで、記憶部75に設けられたデータベースは、下記表6のように構成されている。

【0130】

【表6】

送信先ID	通話料金データ(円)	割引データ(円)	割引通話料金データ(円)
○△□ne.jp	9000	200	8800
09012345678	7000	100	7900
09098765432	5000	200	4800
△□○ne.jp	6000	100	5900
...
...
...

【0131】

例えば、送信先IDが「○△□ne.jp」の携帯型電話装置40の所有者は、通

話料金データが9000円であり、割引データが200円であるから、通話料金データに割引データを反映させた割引通話料金データが8800円となり、送信先IDが「09012345678」の携帯型電話装置40の所有者は、通話料金データが7000円であり、割引データが100円であるから、通話料金データに割引データを反映させた割引通話料金データが7900円となり、送信先IDが「09098765432」の携帯型電話装置40の所有者は、通話料金データが5000円であり、割引データが200円であるから、通話料金データに割引データを反映させた割引通話料金データが4800円となり、送信先IDが「△□○ne.jp」の携帯型電話装置40の所有者は、通話料金データが6000円であり、割引データが100円であるから、通話料金データに割引データを反映させた割引通話料金データが5900円となる。

【0132】

次いで、サーバ装置30は、ステップS109において、専用線4を介してサーバIDと共に課金サーバ装置80にアクセス要求を行い、中央管理装置70も、専用線5を介して中央管理装置70のIDと共に課金サーバ装置80にアクセス要求を行う。アクセス要求受信待機状態にある課金サーバ装置80は、ステップS110において、サーバ装置30又は中央管理装置70からのアクセス要求を受信したとき、ステップS111に進み、アクセス要求を受信しないとき、ステップS110を繰り返す。そして、課金サーバ装置80は、ステップS111において、サーバ装置30から送信されたサーバIDに基づいて認証処理を行い、また、中央管理装置70から送信された中央管理装置70のIDに基づいて認証処理を行う。そして、課金サーバ装置80は、サーバ装置30又は中央管理装置70の認証が取れたとき、ステップS112に進み、認証が取れなかったとき、ステップS113に進む。

【0133】

ここで、送信者端末装置10の所有者である広告主は、予め本システムのサービス用に口座を指定しており、課金サーバ装置80は、口座に対応して広告主用鍵を記憶している。また、中央管理装置70の管理者も、予め本システムのサービス用に口座を指定しており、口座に対応して管理者用鍵を記憶している。した

がって、認証が取れたとき、課金サーバ装置80は、ステップS112において、サーバ装置30に広告主用鍵を送信し、また、中央管理装置70に管理者用鍵を送信する。

【0134】

また、ステップS113において、サーバ装置30又は中央管理装置70からの認証が取れなかったとき、課金サーバ装置80は、サーバ装置30に非認証信号を送信し、サーバ装置30の管理者、すなわち本システムの管理者に認証が取れなかったことを知らせ、また、中央管理装置70に非認証信号を送信し、中央管理装置70の管理者に認証が取れなかったことを知らせる。

【0135】

ステップS114において、サーバ装置30は、広告主口座用鍵を受信したかどうかを判断し、受信したとき、ステップS115に進み、受信していないとき、ステップS114繰り返す。ステップS115において、サーバ装置30は、広告主口座用鍵と共に上記表5の各広告主の課金データを課金サーバ装置80に送信する。そして、課金サーバ装置80は、ステップS116において、サーバ装置30からの広告主口座用鍵と課金データとを受信する。

【0136】

また、ステップS117において、中央管理装置70は、管理者口座用鍵を受信したかどうかを判断し、受信したとき、ステップS118に進み、受信していないとき、ステップS117繰り返す。ステップS118において、サーバ装置30は、管理者口座用鍵と共に上記表6の割引通話料金データを課金サーバ装置80に送信する。そして、課金サーバ装置80は、ステップS116において、サーバ装置30からの管理者口座用鍵と割引通話料金データとを受信する。

【0137】

ステップS120において、課金サーバ装置80は、サーバ装置30からの広告主に対する課金データに基づいてデータベースの更新、すなわち日付、入出金履歴、残金等の更新を行う。また、課金サーバ装置80は、中央管理装置70からの割引通話料金データに基づいてデータベースの更新、すなわち日付、入出金履歴、残金等の更新を行う。

【0138】

以上のようなシステムでは、例えばアーティストのコンサートチケットを購入した者の携帯型電話装置40に、チケット購入者がコンサート開演直前、直後等コンサート会場に居る時間に、アーティストのコンパクトディスク、ポスター等アーティスト関連商品の広告データを配信するようにすることで、宣伝効果をより高めることができる。一方、携帯型電話装置40の所有者は、広告データを受信することで、携帯型電話装置40の通話料金の割引を受けることができる。したがって、本システムの活性化を図ることができる。

【0139】

ところで、上述した送信者端末装置10、サーバ装置30、広告主端末装置60は、通常のコンピュータで構成されており、上述した一連の処理を実行するには、上記一連の処理を実行するためのコンピュータプログラムを各装置にインストールすればよい。すなわち、各装置には、各処理を実行するためのコンピュータプログラムが記録された光ディスク、光磁気ディスク、磁気ディスク、半導体メモリを用いるICカード等の外部記憶装置をドライブ23, 37, 67に装着し、これらコンピュータプログラムは、ドライブ23, 37, 67を駆動することによって、外部記憶装置から読み出され、記憶装置であるHD11, 61や記憶部31にインストールされる。また、このコンピュータプログラムは、インターネット3、LAN (local area network) や衛星を介して各装置にインストールすることもできる。また、携帯型電話装置40では、ドライブ58にICカードを装着し、ICカードよりコンピュータプログラムを読み出すことによって、記憶部52にインストールすることができる。勿論、インターネット3等を介してインストールするようにしてもよい。

【0140】

また、第2の端末装置として、携帯型電話装置40を例に取り説明したが、これに限定されるものではなく、携帯型の移動体通信端末装置であってもよい。

【0141】

また、楽曲データをインターネット3を介して送受信する際には、ATRAC 3 (Adaptive Transform Acoustic Coding 3: 商標)、MPEG-2 AAC (Mo

tion Picture Expert Group 2 Advanced Audio Coding: 商標)、MP 3 (MPEG-1 Audio Layer3: 商標)、Twin VQ (Transform-Domain Weighted Interleave Vector Quantization: 商標)、MS Audio (WMA: Windows Media Audio: 商標)、Ogg Vorbis (商標)等の方式でデータを圧縮することで円滑にデータの送受信を行うことができる。

【0142】

また、楽曲データの他に、楽曲と組み合わせされた宣伝用のビデオデータを用いてもよい。ビデオデータの送受信を行うときには、MPEG 4、MPEG 7等の方式でデータを圧縮することで円滑にデータの送受信を行うことができる。

【0143】

また、サーバ装置30と課金サーバ装置80とは、同一の装置で構成し、簡素化を図るようにしてもよい。

【0144】

【発明の効果】

本発明によれば、送信者が希望する日時に、コンテンツデータを相手方の第2の端末装置に送信することができ、タイミング良くコンテンツデータを相手方に送ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を適用したデータ送受信システムの具体的な構成を示すブロック図である。

【図2】

送信者端末装置から送信されたグリーティングメッセージが携帯型電話装置に届くまでの一連の手順を説明するためのフローチャートである。

【図3】

携帯型電話装置にグリーティングメッセージを送信する際に、楽曲データや画像データをホームページを見て選択することができるシステムの一連の手順を説明するフローチャートである。

【図4】

上記図 3 に示す例において、ホームページ上でグリーティングメッセージに添付する楽曲データや画像データを選択する画面を説明する図である。

【図 5】

グリーティングメッセージに広告データを添付するシステムの一連の手順を説明するためのフローチャートである。

【図 6】

上記図 5 に示すシステムの決済処理方法を説明するフローチャートである。

【図 7】

広告データを送信者端末装置から携帯型電話装置に送信するシステムの一連の手順を説明するフローチャートである。

【図 8】

上記図 5 に示すシステムの決済処理方法を説明するフローチャートである。

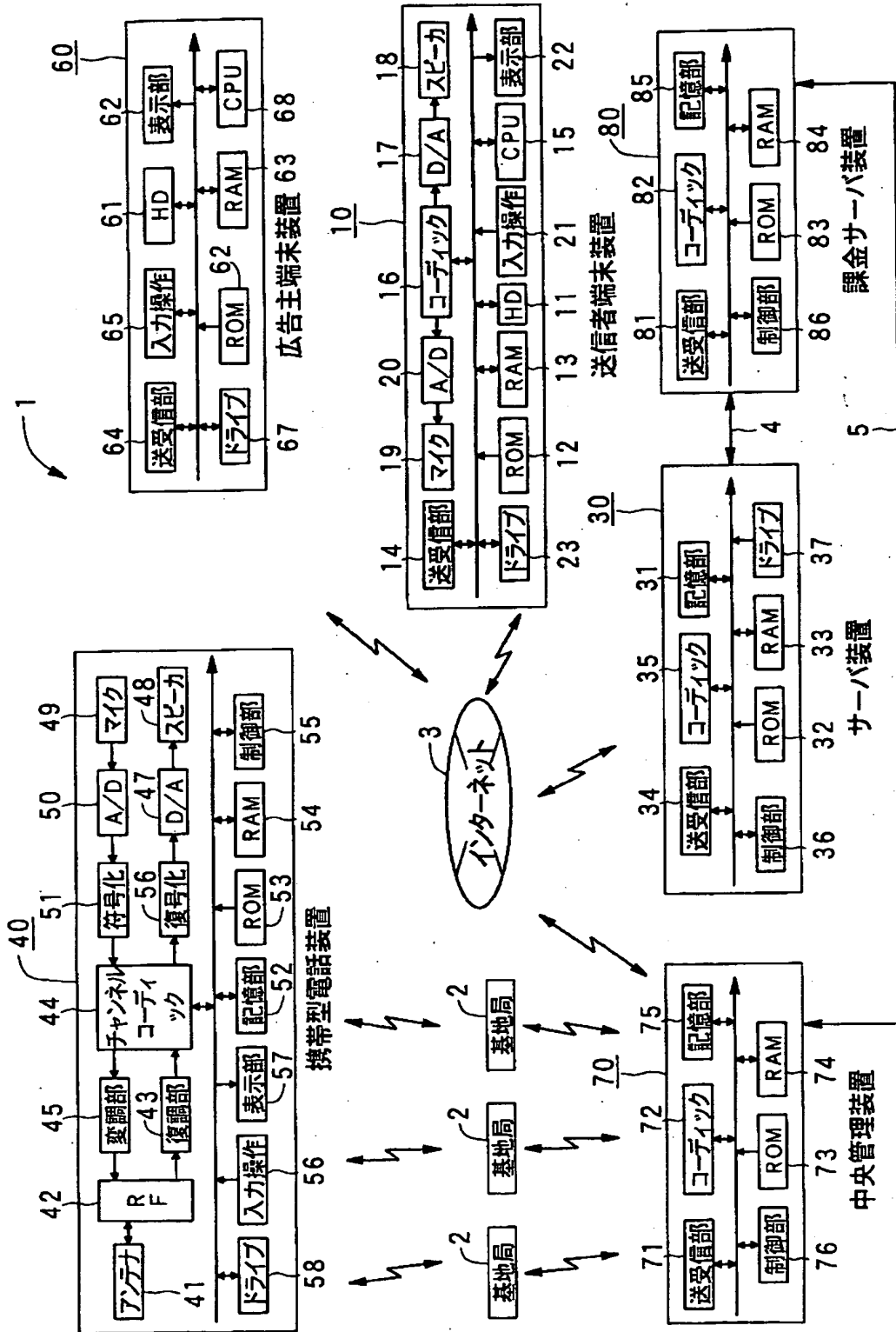
【符号の説明】

- 1 データ送受信システム、3 インターネット、10 送信者端末装置、20 サーバ装置、40 携帯型電話装置、60 広告主端末装置、70 中央管理装置、80 課金サーバ装置

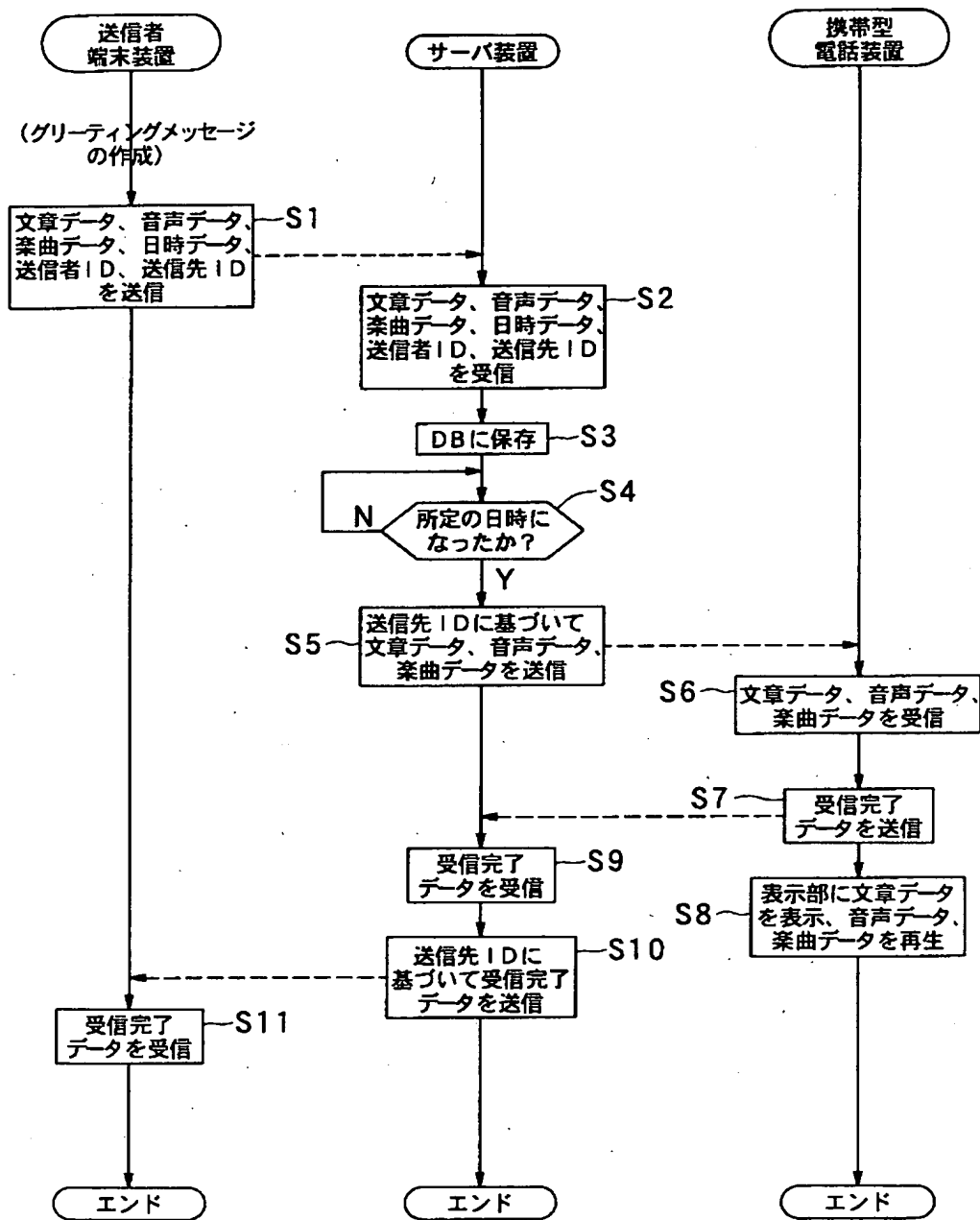
【書類名】

図面

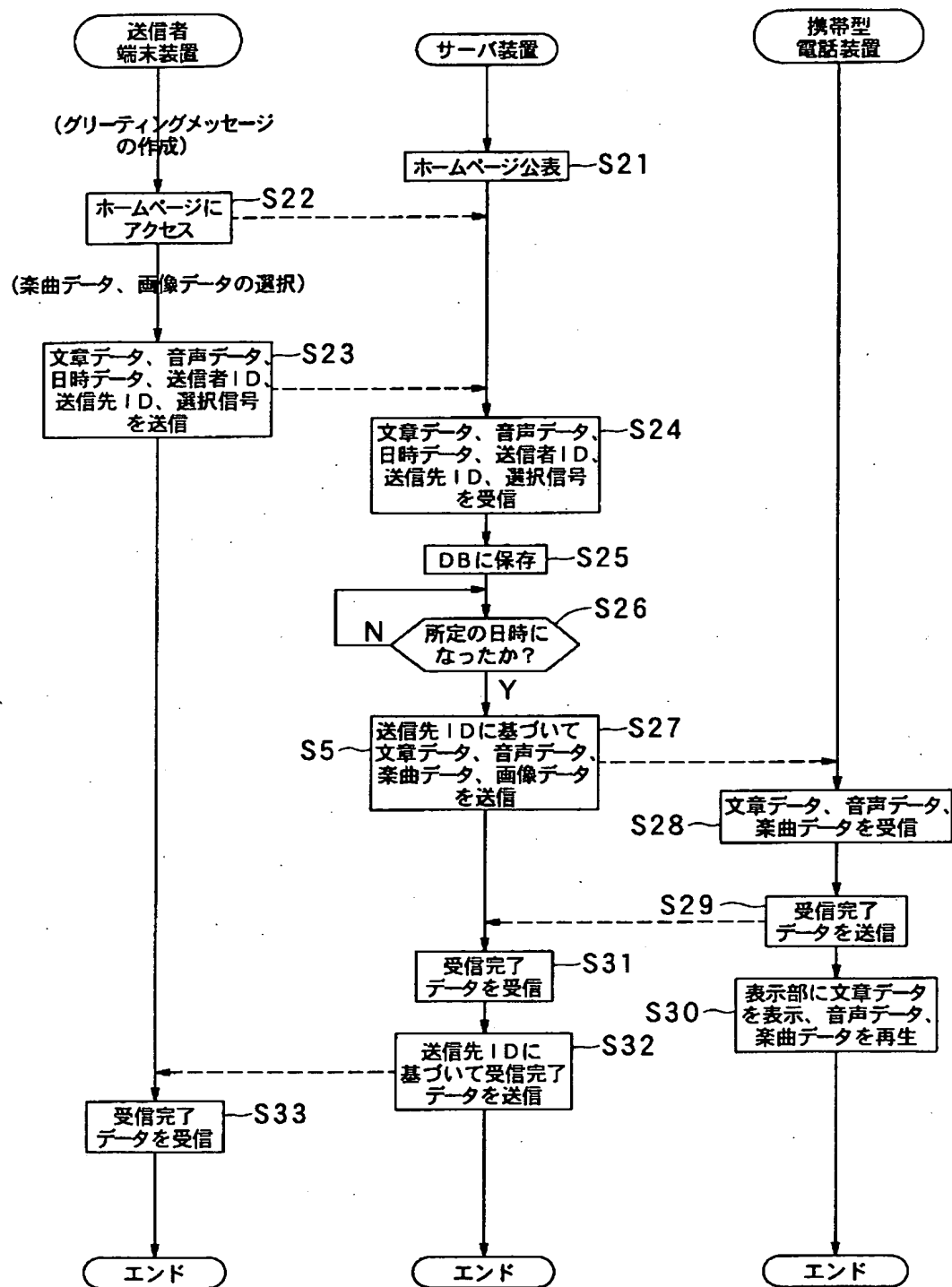
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

楽曲の部

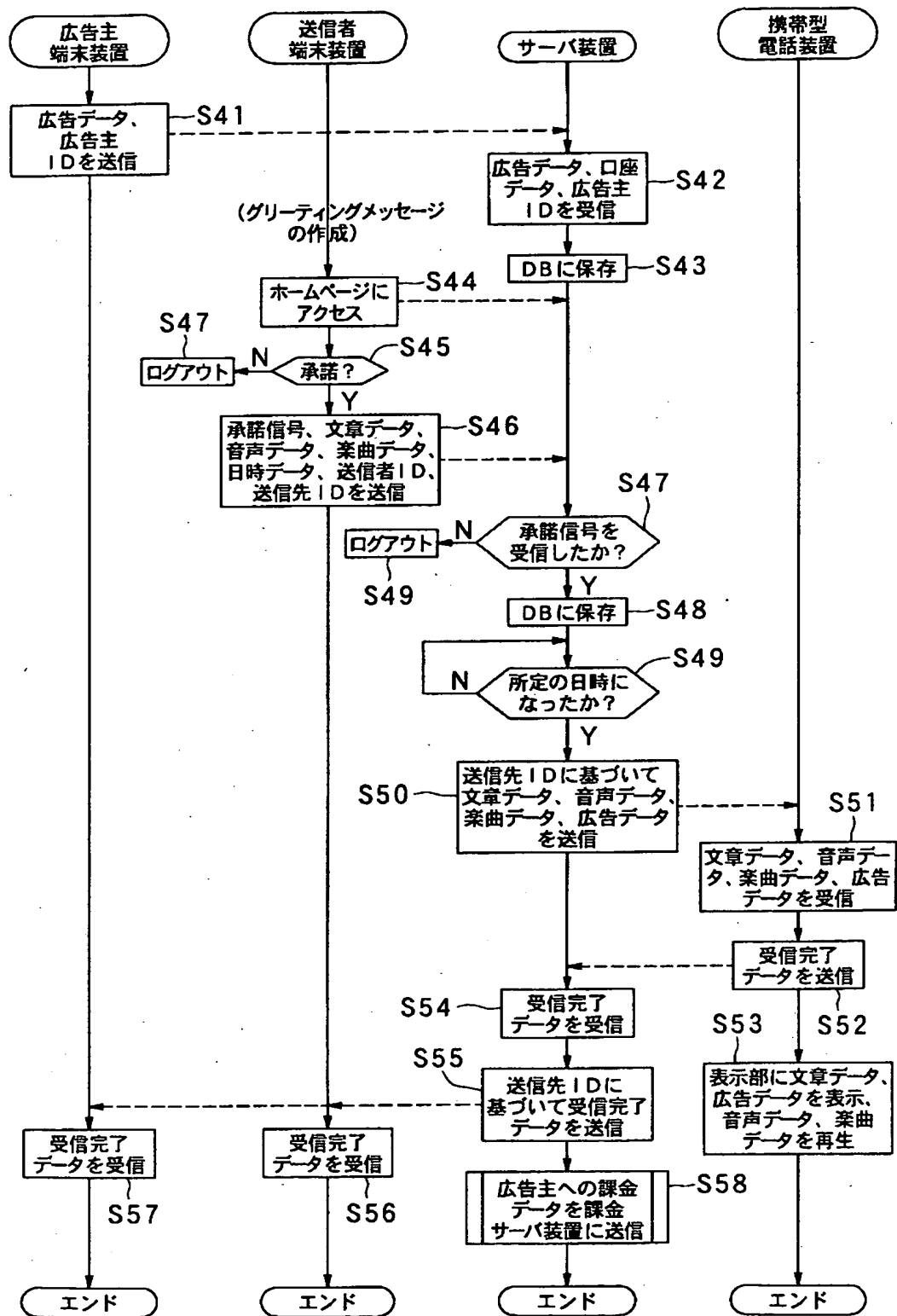
ジャンル	誕生日	結婚	卒業	入学
	タイトル	タイトル	タイトル	タイトル
	A 試験用	D 試験用	G 試験用	J 試験用
	B 試験用	E 試験用	H 試験用	K 試験用
	C 試験用	F 試験用	I 試験用	L 試験用

画像の部

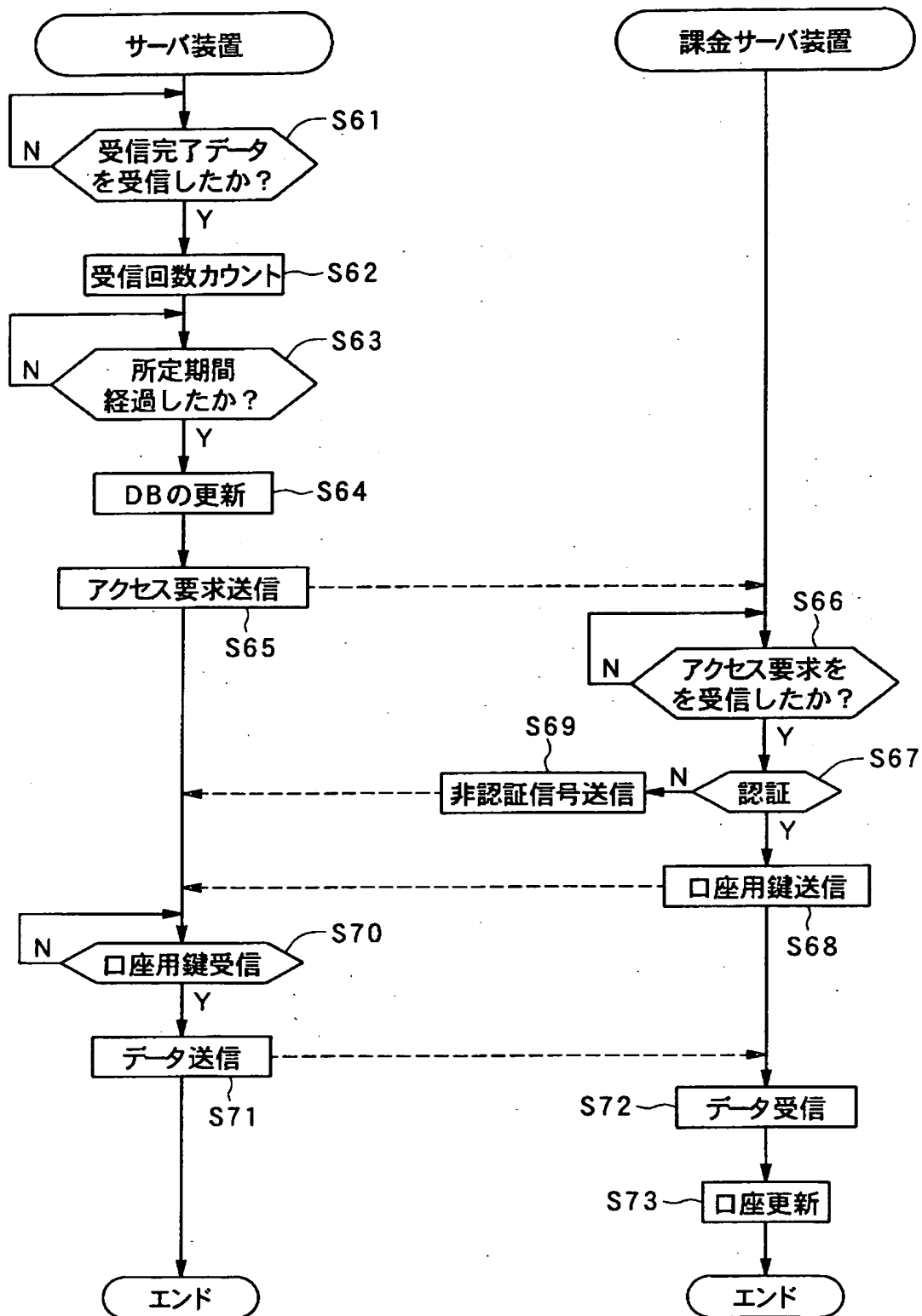
ジャンル	誕生日	結婚	卒業	入学
	タイトル	タイトル	タイトル	タイトル
	O	R	U	X
	P	S	V	Y
	Q	T	W	Z

送信

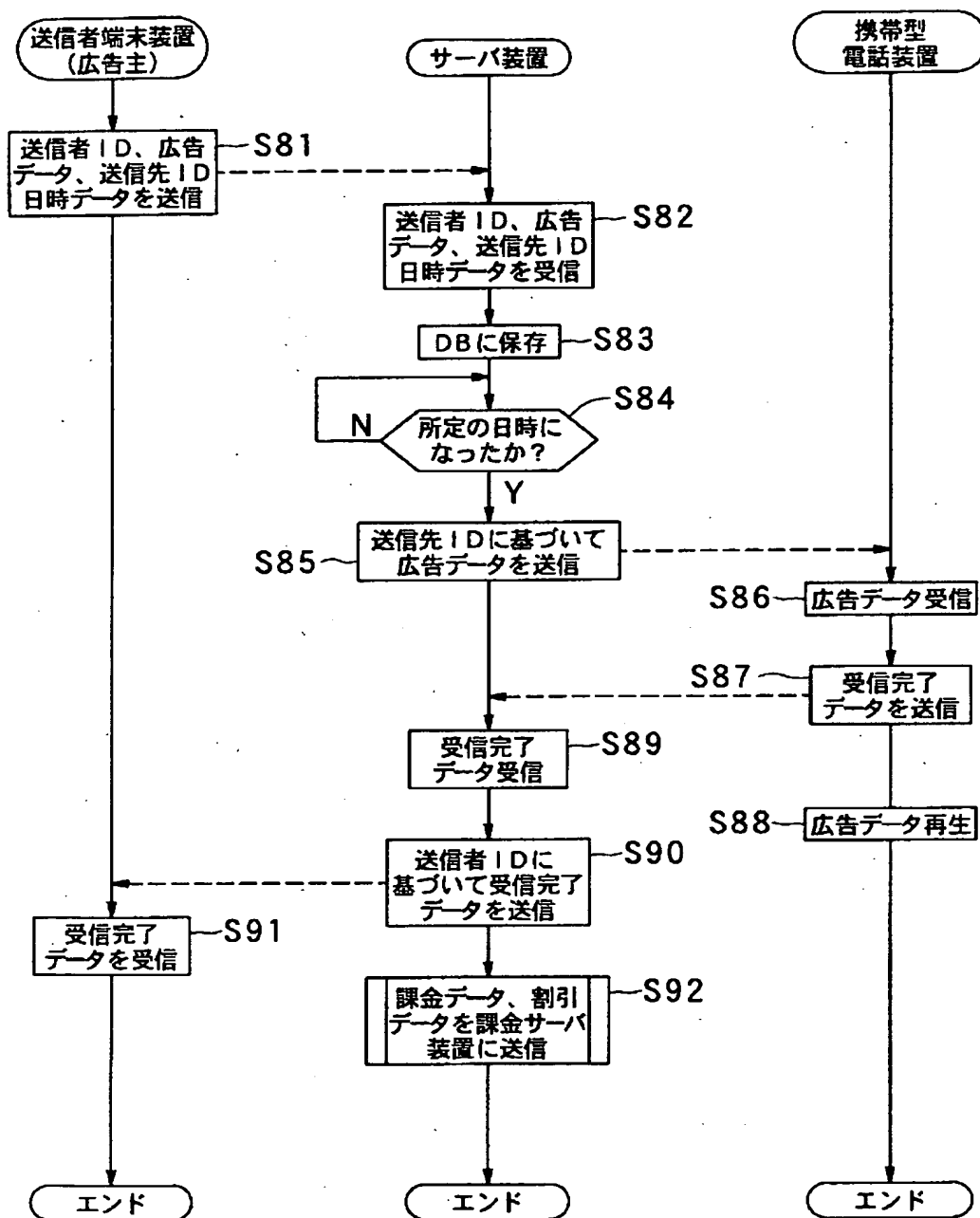
【図 5】



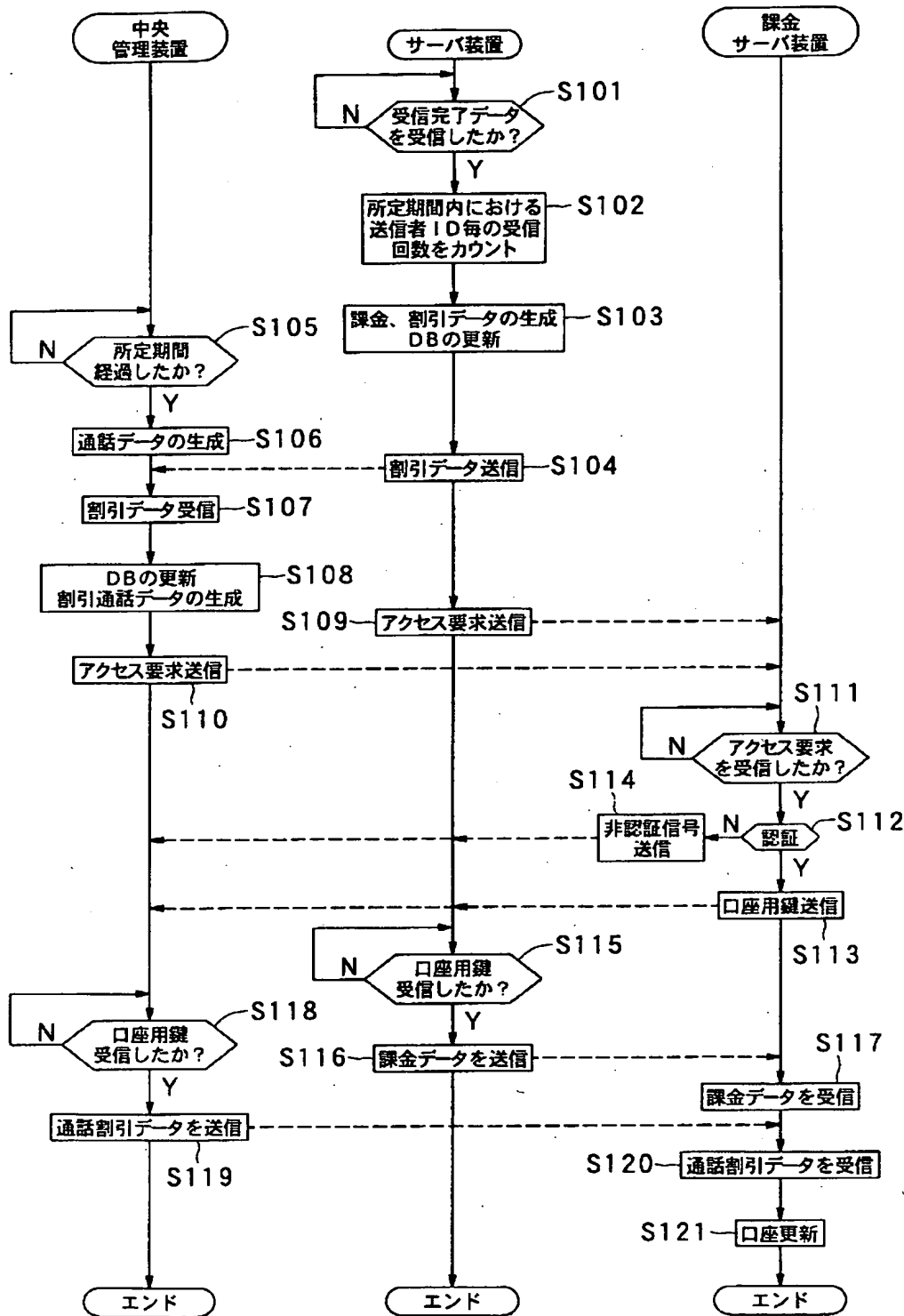
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 グリーティングメッセージを送信者指定の日時に送信する。

【解決手段】 グリーティングメッセージとこのグリーティングメッセージを送信する送信者 I D と、送信先を特定する送信先 I D と、この送信先に送信する日時データとを送信する送信者端末装置 1 0 と、グリーティングメッセージ、送信者 I D、送信先 I D 及び日時データを送信者端末装置 1 0 から受信し、送信先 I D と日時データに基づいてグリーティングメッセージを送信するサーバ装置 3 0 と、サーバ装置 3 0 から送信されたグリーティングメッセージを受信し、このグリーティングメッセージを再生する携帯型電話装置 4 0 とを備える。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日	1990年 8月30日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏 名	ソニー株式会社